

K N O  
 小野澤繁雄  
 布宮 慈子  
 河村 郁子

傘をしてまでして歩く人少なまして年寄り出ている鴉  
 7月8日 O

傘さして応援してはならぬとふサッカー場に雨合羽あまた  
 7月15日 N

梅雨明けて晴雨兼用傘出せどショッピングカートに使ふことなし  
 7月28日 K

沼からでなく沼に下ってきたところ睡蓮の、鯉の沼ひとつの沼に  
 7月31日 O

最上川の洪水のためあるといふ大久保遊水地は役割果たしき  
 8月7日 N

梅雨明けのあと感染に観戦とせはしきままにはや秋たちぬ  
 8月20日 K

くしゃみしているそれは人でなく犬暑さのなかに秋風の吹く  
 8月25日 O

秋風の急に身に沁みサッカーの日本代表オマーンに敗れつ  
 9月2日 N

水道の水の温みに秋を知り「猛暑」の言ひ訳もはや効なし  
 9月3日 K

雨の日も雨のつづきも気疎くてとしよりしことのそれも一つか  
 9月7日 O

雨の日の次の青空うれしくて秋の光の中を歩きぬ  
 9月10日 N

東窓開けて陽光久しかり大日如来に両手を合はす  
 9月15日 K

一つ屋に囲われていて立派さは中松地藏中松本町のもの  
 9月18日 O

上町の勢至菩薩は山形十三仏霊場の第九番札所なり  
 9月28日 N

菩提寺は武蔵野三十三観音霊場の一番なれどもはや巡れぬ  
 10月10日 K